

①時間を気にして進めましょう

参加者全員が発言できるように、1回の発言時間が長くなりすぎないように気をつけ、簡潔な発言になるよう心がけましょう。

②お互いの発言を尊重しましょう

お互いの発言を尊重して、他の人の発言を否定するのではなく、疑問点や理解できない点があれば質問するように心がけましょう。

また、特定の個人や団体などを誹謗中傷するような発言は控えましょう。

③スムーズな進行に協力しましょう

意見交換の間は、進行役（ファシリテーター）の指示に従い、スムーズな進行ができるよう協力しましょう。

④活発な意見交換のために遠慮せずに発言しましょう

活発な意見交換ができるように、思いついた意見は遠慮せず、積極的に発言するようにしましょう。

⑤テーマと関係のない発言は避けましょう

ただし、時間が限られていますので、意見交換のテーマと関係のない発言は避けましょう。



NPO と行政の協働についての基本姿勢（意見交換）

あいち協働ルールブック 2004 ～NPO と行政の協働促進に向けて～より

(行政と NPO 共通の基本姿勢)

- ・ 行政と NPO は、双方の良さ、得意分野を活かすために、お互いの立場の違いを尊重する。
- ・ 地域において取組みが必要な課題やテーマについて、共通認識が持てるように、行政、NPO の双方が努める。
また、共通認識が持てないまでも、双方の接点が見出せるように努力する。

(行政の基本姿勢)

- ・ 行政は、幅広い部局において、NPO との情報交換・意見交換を継続的に行うよう努める。
- ・ 行政は、行政内部で横断的に、地域の課題や NPO に関する情報交換や意見交換を行うことによって、組織横断的な課題やテーマに対して協働に取り組むよう努める。

(NPO の基本姿勢)

- ・ NPO は行政への一方的な批判や要求を行うだけにとどまらず、課題解決に向けて建設的な意見交換や提言を行うよう努める。
- ・ 中間支援団体や中間支援機能をもった NPO は、現場の情報をできる限り収集しながら各分野の NPO の意見表明を支援するよう努める。

あいち住まい・まちづくりマスタープラン見直しに向けた 第5回 NPO等意見交換会

テーマ:安心・安全な住まい・まちづくりについて

14:00 開会
あいさつ

14:05 NPO等意見交換会の開催について

14:10 本日のテーマについて

..... ~第1部~

14:20 グループワーク(テーブルごと)

- 自己紹介など(所属、興味あるテーマなど)
- 検討項目決め
- 意見交換
 - ①テーマに関する現状認識、課題(40分)
 - ②テーマに関する提案(40分)

15:50 各グループの成果発表準備

16:00 休憩

..... ~第2部~

16:10 グループ発表と有識者等との意見交換

- 各グループ発表(各5分)
- 発表についての意見交換(各10分)
- 全体について意見交換(10分)

17:05 講評

17:15 閉会

本日の意見交換会のテーマとグループワークでの主な検討項目

本日のテーマ

安心・安全な住まい・まちづくりについて

下記検討項目を中心に、現状課題の認識、提案等について意見交換します。

なお、「地域コミュニティの再生」や「住まい・まちづくりの各主体が担う役割」の観点も含めるものとします。

検討項目①

地域における防災への取組～地震や浸水への事前事後対策～

- 住宅の耐震化（診断・改修）の促進や密集市街地の整備を進めるには、どのような取組が必要か。
- 水害に強い住まい・まちづくりに向けて、どのような取組が必要か。
- 地域における防災活動を推進するために、住民、自治会等地縁組織、NPO、専門家、事業者、行政等が、それぞれどのような取組をすべきか。
- 災害時の要援護者について、地域においてどう支援するか。

等

検討項目②

地域ぐるみでの防犯への取組

- 犯罪に強い住まい・まちづくりを進めていくためには、どのようにすればよいか。
- 地域における防犯活動を推進するために、住民、自治会等地縁組織、NPO、専門家、学校、行政等が、それぞれどのような取組をすべきか。
- 個人の防犯意識を向上させ、住まいの防犯対策を促進するためには、どのような取組が必要か。

等

MEMO